

学術情報処理センター紹介

情報処理センター長 渡辺 義明

はじめに

情報処理センターは、平成12年度から学術情報処理センターとして再出発する見込みとなっております。そこで新しく設置されます学術情報処理センターの概要をお知らせいたします。現在、具体的な業務内容の詳細を含めて組織体制を検討している最中ですので、ここでは学術情報処理センターが目指す方向性を簡単に紹介することとします。

背景

添付の図は、情報処理センターと新しい学術情報処理センターの関係を示した概算要求資料の一つです。従来の情報処理センターは、研究支援が主たる業務として設定されてきました。しかし、現実には、情報処理センターのサービスは、研究利用として想定された大規模数値計算に留まらないものになっています。例えば、電子メールは日常的情報交換手段として、欠くことの出来ないものとなっています。また、インターネットを利用した学術情報流通の質的・量的拡大は著しいものがあります。更に、情報処理教育の普及や事務処理の電算化などに伴い、利用内容が多様化しています。こうした、コンピュータとネットワークの利用形態の多様化と、利用者の全学生・全教職員への広がりに対応した新しい概念の組織が必要とされています。

位置付け

このような状況に対応するために、新しく学術情報処理センターを設置します。学術情報処理センターは、大学における学術情報を支える基幹情報システムの統括組織として位置付けます。ここで基幹情報システムは、大学の情報インフラともいえる、基幹ネットワーク、ネットワークサーバ、外部接続線、共通的教育用システム、共通的研究用システム、学術情報データベースから構成されるものです。

業務

学術情報処理センターでは以下の業務を行います。まず、研究用に必要とされる計算資源や各種入出力装置等を整備し、研究活動を支援します。また、教育用計算機環境を整備

し、情報処理教育の支援および大学教育への情報機器利用の支援促進を行います。さらに、学内組織を結ぶ基幹ネットワークを整備し、情報の流通を支援促進します。

これら従来業務の拡充に加えて、図書館の情報システムを整備し、ネットワークやデータベースなど電子的媒体を用いた電子図書館機能の拡充整備を目指します。また、大学における情報流通の基盤となりうる安全かつ快適なネットワーク環境を整備します。さらに、SCSシステムを維持すると共に、学内情報化および地域情報化の支援を行います。

業務と並行して、実際のシステム運用に伴うシステム管理技術の調査・研究開発、ネットワークを通じて迅速・的確な学術情報の収集・提供を行う電子図書館的機能の実現のための調査・研究開発、ネットワーク上の安全管理技術の調査・研究開発などを行います。

おわりに

学術情報処理センターは、大学の学術情報環境を維持し、より高度に発展させる役割を担います。しかし情報関連の業務を全て担うことは、業務に伴う責任の上からも負担量の上からも非現実的です。それぞれの業務については、適切な分担を各部局にお願いすることもあると思います。今後とも全学的な情報環境の整備と維持に対して皆様のご協力・ご支援を頂けるようお願い申し上げます。

この改組は学長を始めとする学内外の大勢の皆様方の多大なご支援とご協力によって成立のめどが立ちました。多大なご支援とご協力頂いた皆様方に深く感謝いたします。

情報処理センターと学術情報処理センターの相関図

情報処理センター (現行)

学術研究支援を中心にスタートした。時代要請に答えて各種情報支援が質的・量的に急速に拡大し、維持管理が不十分な状況にある。

業務の質的拡大	
情報処理センター設置時	現時点
研究支援	
小人数の利用する汎用機のみ	ほぼ全教職員の利用するワークステーションを中心とする分散協調システム
教育支援	
理系中心のプログラミング小規模教育	全学対象の情報リテラシー
ネットワーク支援	全学部の専門科目
ネットワークなし	学内 LAN 敷設
(TSS 接続のみ存在)	インターネット接続 各種ネットワークサーバ設置 事務及び図書館接続

業務の規模拡大

業務の規模拡大	
設置時 (S63.12)	現時点
研究システム利用者	98 人
教育システム利用者	497 人 (演習時のみ)
情報関連演習講義数	13 クラス
研究支援機器	汎用機 1 台
教育支援機器	PC 及び汎用機 16 台
ネットワークサーバ機	0 台
ネットワーク接続端末数	0 台
ネットワーク機器	0 台
	788 人 (一般利用を含む教職員登録者)
	6165 人 (全学生在学期間)
	79 クラス (全学必修)
	WS 及び端末 31 台
	PC 及び WS202 台
	11 台
	2745 台
	57 台



学術情報処理センター (計画)

大学における学術情報を支える基幹情報システムの統括組織として位置付け、電子図書館機能の充実等、大学の情報化を支援する。

拡充項目

- 研究支援
 - 研究用計算機システムの維持管理及び関連サービスの充実
- 教育支援
 - 教育用計算機システムの維持管理及び関連サービスの充実
 - ネットワーク支援
 - ネットワークの維持管理及び関連サービスの充実
 - ネットワークサーバの維持管理及び関連サービスの充実

新規項目

- 図書館情報支援
 - 図書館電算化システムの維持管理
 - 電子的媒体を対象とした図書館機能の実現
 - ネットワーク安全管理
 - 不正アクセス防止対策
 - アクセス記録管理
 - 情報の収集と学内への広報
 - SCS 支援
 - システムの維持管理及び関連サービス
- 学内情報化支援
 - 学内のネットワークや情報システム等に関する技術支援
 - 地域情報化支援
 - 地域のネットワークや情報システム等に関する技術支援
- 研究
 - システム管理運営に係わる調査・開発研究
 - 電子図書館学に係わる調査・開発研究
 - ネットワークに係わる調査・開発研究